

2022.11.20

日曜日

東北支部通信

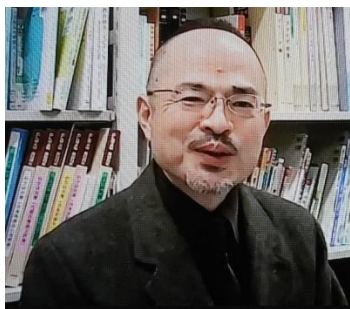
第18号

＜発行＞
公益社団法人
全日本鍼灸学会
東北支部

令和4年11月20日(日) 仙台国際センター 小会議室1にて、第38回 東北支部 学術集会被開催されました。深秋を感じる肌寒い朝でしたが、2年後の全国大会開催会場と同じという事があり、思いを巡らせると胸の中に熱いものを感じました。また紅葉の合間に映える青葉城址は壮麗で、全国から集まる方々にぜひロケーションも堪能していただきたいと思いました。

シンポジウム「呼吸器疾患への東洋医学からのアプローチ」では、まずはじめに東北大学大学院医学研究科 漢方・統合医療学 共同研究講座 特命教授 **高山 真 先生** (上) よりご講演いただきました。早期の漢方薬治療がいかに全体数の減少に大きく関与していたのか、新型コロナウイルス感染症対応の最前線に対応されていた高山先生ならではの検証内容だと思いました。続いて、福島県立医科大学 会津医療センター附属研究所 漢方医学研究室 教授 **鈴木 雅雄 先生** (下) より、新型コロナウイルス感染症を含めた呼吸器疾患に対する鍼治療についてご講演いただきました。中東ではカッピングを用いているであるとか、五行でいう肺と皮膚の関係を現代医学とつなげた内容で解説いただいたり、参加している学生にも分かりやすい話から入っていただき、興味津々の内容でした。最後に総合討議として、お二人の先生に意見交換していただき「医師から医療連携できる鍼灸師とは」というテーマでは、信頼に値する関係性の構築が重要で、そのために医師と積極的に関わり、コミュニケーションを取っていく重要性を強く感じました。

学生応援企画 **鍼灸学校入学生と新卒鍼灸師に学んでほしい-鍼灸臨床インシデント-**として、公益社団法人 全日本鍼灸学会 臨床情報部長 森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科 研究科長・教授 **山下 仁 先生** にご講演いただきました。この講座では学生座長として、福島県立視覚支援学校 専攻科理療科3年 **江川 小百合さん**と、赤門鍼灸柔整専門学校 鍼灸マッサージ東洋医療科3年 **高橋 朋也さん**の二人が学生座長として進行してくれました。山下先生から質問を振られ、二人の座長がそれに答えて話が進んでいく『黄○内経』のやり取りを思わせる展開に、鍼灸の安全性の理解がより深まる講座でした。討議ではベテランの先生からのヒヤリハット報告や、事故防止の意識改革の啓蒙にどう取り組むかといった提言があったり、活発に意見が交わされていました。



山下 仁 先生



江川 小百合 さん



高橋 朋也 さん

一般口演として、演題「鍼治療を用いたアルコール渴望感のコントロールを実施した1症例」福島県立医科大学会津医療センター 宮田 紫緒里 先生、演題「第64回大会ふくしま大会の準備・運営についてのワークショップ」一般社団法人 福島県鍼灸師会 三瓶 真一 先生 お二人の先生からご発表いただきました。

次回は令和5年1月15日(日) 郡山市労働福祉会館大ホールにて、AB講座(ハイブリット)を行います。多くの方のご参加をお待ちしております。